

令和7年4月11日(金)

本格的な国際会議「国際金融暗号学会 2025」、宮古島で初開催

一般財団法人沖縄観光コンベンションビューロー（会長：下地芳郎、以下 OCVB）が沖縄県、日本政府観光局（JNTO）、シギラセブンマイルズリゾート、宮古島市、宮古島観光協会など関係者と協力し誘致成功した国際会議「国際金融暗号学会（International Conference on Financial Cryptography and Data Security2025（FC25）」が沖縄（宮古島）で開催されます。

宮古島にて本格的な国際会議（※1）が開催されることは初の機会となります。会議やレセプションが開催される「シギラセブンマイルズリゾート」をはじめ、島内観光を楽しむエクスカージョン等も予定されており、地域への経済波及効果はもちろん、島嶼地域での国際会議開催事例としてのノウハウ構築や、国際的に注目される研究発表の舞台となることでの知名度向上にも期待がかかります。

宿泊、交通等、観光関連事業者はじめ、宮古島市民の温かな理解と歓迎で、国内外からの参加者に宮古島が高く印象付けられることが期待されます。

（※1）本催事は国際会議協会（International Congress and Convention Association:ICCA）が公表する以下の国際会議統計の選定基準を満たした会議です。

- (1) 参加者総数：50名以上
- (2) 開催期間：定期的で開催（1回のみ開催した会議は除外）
- (3) 開催国について：日本を含む3カ国以上で会議のローテーションがある
(2カ国間会議、政府系会議、国連主催の会議は除外)

【会議概要】

- ・ 催事名称：Financial Cryptography 2025
- ・ 主催団体：International Financial Cryptography Association
- ・ 開催期間：2025年4月14日～18日
- ・ 会場：ホテル シギラミラージュ（宮古島）
- ・ 会議ウェブサイト：<https://fc25.ifca.ai/>
- ・ 参加予定人数：約190名

（約90%は海外からの参加者。欧米を中心に日本を含む30か国・地域から参加）

※12年ぶりの日本開催（初の宮古島開催）も影響し参加登録者数は増加した。

・内容：国際的な暗号学の会議で、金融システムをはじめとした各種社会システムのセキュリティを議論する。暗号通貨に関しては世界最高峰の研究討議の場となる。

・過去における沖縄開催実績：2013年に沖縄本島にて開催（会場：万国津梁館）

➤ キーパーソン：

FC25 共同実行委員長

① 佐古 和恵 氏／早稲田大学 基幹理工学部 情報理工学科 教授（在日本）

② Rafael Hirschfeld 氏／Unipay／IFCA Director（在オランダ）

【宮古島選定の理由】

○アジアからのアクセスが良い（アジアからの参加者増を期待）

○カリブ海をはじめ世界のビーチリゾートで毎年開催されてきた本件の開催にふさわしい質の高いビーチリゾート

○高い安全性

【お問い合わせ先】

（一財）沖縄観光コンベンションビューロー
海外・MICE 事業部 MICE 推進課

担当：上地、折原

TEL:098-859-6130 FAX:098-859-6222

Mail:mice@ocvb.or.jp

国際金融暗号学会2025 (International Conference on Financial Cryptography and Data Security2025)

(参考) 全体スケジュール **※取材は4/16 (水) 19:50~ (サンタモニカレストラン) のみ可**

※会議及びレセプション (金曜日除く) はシギラセブンマイルズリゾート内にて実施)

	午前	午後	レセプション
0日目 4月13日 日			日曜レセプション
1日目 4月14日 月	会議	会議	ウェルカムレセプション
2日目 4月15日 火	会議	島内観光 (バスツアー) 伊良部大橋など	—
3日目 4月16日 水	会議	会議	カンファレンスディナー (泡盛試飲ブース、 エイサー演舞あり)
4日目 4月17日 木	会議	グループ別アクティビティ ・水中観光船 ・シュノーケリング ・カヤック	—
5日目 4月18日 金	会議 (分科会)	会議 (分科会)	フェアウェルサンセットクルーズ (バイクルーズ モンブラン)